

# 2011年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

東日本大震災により鉄道も大きな損傷を受けました。地域の足の確保に止まらず地域の文化やコミュニティを育んできた鉄道の復旧が、震災復興の大きな原動力になることを知る一年となりました。

その一方で、平成24年3月31日をもって十和田観光電鉄線と長野電鉄屋代線が廃止されました。このような中、一般社団法人交通環境整備ネットワークの3期目となった2011年度は、地域と鉄道の一層の結びつきが必要との認識のもと、交通環境の調査研究と併せて地域鉄道フォーラム、セミナー・トレイン等を開催しました。

また、インターネットや専門誌など様々なメディア等を通し情報発信を行ってきました。詳細については以下のとおりです。

## 1. 交通環境の調査研究

鉄道をとりまく現状、市民参加の現状に関する諸情報を収集するとともに以下の調査研究を公表しました。

- (1) 全国総合開発計画と東北・上越新幹線：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.04〕 p106～111
- (2) 国鉄木原線からいすみ鉄道まで：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.05〕 p108～114
- (3) 地域鉄道における上下分離の導入効果と可能性：原 潔 運輸と経済〔11.05〕 p65～78
- (4) 二つの並行在来線 肥薩おれんじ鉄道／青い森鉄道：佐藤信之  
鉄道ジャーナル〔' 11.06〕 p104～111
- (5) 大阪環状線の成立とその後：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.07〕 p104～110
- (6) 地域鉄道フォーラム開催 「地域鉄道の安全防災対策について」：原 潔  
運輸公論〔' 11.06・07〕 p34～45
- (7) 東日本大震災による鉄道被害：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.08〕 p104～113
- (8) 平成23年3月期JR各社と東京地下鉄の決算：佐藤信之  
鉄道ジャーナル〔' 11.09〕 p107～111
- (9) 平成22年度（平成23年3月期）民鉄決算(1)：佐藤信之  
鉄道ジャーナル〔' 11.10〕 p104～111
- (10) 平成22年度（平成23年3月期）民鉄決算(2)：佐藤信之  
鉄道ジャーナル〔' 11.11〕 p171～175
- (11) ローカル線の上下分離—現状と可能性：原 潔 鉄道ジャーナル〔' 11.11〕 p74～80
- (12) ローカル線問題の視点：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.11〕 p109～111
- (13) 東日本大震災による鉄道被災と代替バス：入江 聡  
地域交通を考える3〔' 11.11〕 p6～30
- (14) 「国際興業のコミュニティバス小史」～17年間・10自治体に及ぶ  
個性溢れるコミュニティバスの歩みと今後～：後藤崇輔、高橋俊和  
地域交通を考える3〔' 11.11〕 p31～43
- (15) 資料「十和田観光電鉄の存廃論議」：地域交通を考える3〔' 11.11〕 p79～96
- (16) 資料「長野電鉄屋代線の存廃論議」：地域交通を考える3〔' 11.11〕 p96～104
- (17) 日本の車両メーカーの動向：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 11.12〕 p104～111
- (18) 平成23年度第3次補正予算と平成24年度予算概算要求：佐藤信之  
鉄道ジャーナル〔' 12.01〕 p104～133
- (19) 首都圏の鉄道網の展望：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 12.02〕 p80～84
- (20) 十和田観光電鉄の開業から廃止決定まで：佐藤信之 鉄道ジャーナル〔' 12.02〕 p132～138

## 2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

### (1) 主催活動

- ①国土交通省鉄道局後援 第3回地域鉄道フォーラムの開催  
期 日：平成23年6月11日（土）  
13時00分～15時00分  
場 所：東武博物館ホール

参加人員：51名

(プログラム)

講演

1. 地域鉄道支援の概要  
ー国土交通省鉄道局地域鉄道支援室長 横田孝洋氏
2. 東武鉄道の安全防災対策の取り組み  
ー東武ステーションサービス株式会社常務取締役 宇賀神 博氏  
(前 鉄道事業本部安全推進部課長)
3. 地域鉄道の安全防災対策  
ー公益財団法人 鉄道総合技術研究所 理事 河合 篤氏

②国土交通省関東運輸局後援 セミナートレインー東京の地下鉄探検ー開催

期 日：平成24年3月24日(土) 13時00分～15時00分

場 所：地下鉄博物館ホール

参加者：24名

(プログラム)

1. 講演：東京地下鉄の歴史  
交通評論家 佐藤信之
2. 講演：地下鉄建設技術のあゆみと最近の改良工事  
東京地下鉄株鉄道本部改良建設部長 野焼計史氏

(2) 参加・後援等の支援協力活動

①関東運輸局主催第1回地域公共交通マイスターワークショップ

プレゼンテーション：向後功作 平成23年6月27日 横浜

②鉄道サポーターズネットワーク主催がんばっぺ！茨城 鉄道の再生⇒町の元気開

催協力 平成23年7月30日(土) 那珂湊駅

③泉の会主催写真展「元気になる鉄道写真2011」後援

平成23年10月15日から11月13日までの土・日曜日と祝日羽前成田駅で開催

④関東運輸局主催房総横断鉄道関係者意見交換会参加：佐藤信之、原 潔

平成23年12月21日 大多喜

⑤山形鉄道主催山形新幹線20周年・山形鉄道プレ25周年記念!山形鉄道大学

米屋こうじ先生と行く鉄道写真教室ツアー 後援

平成24年2月4日(土)～5日(日)

⑥由利高原鉄道利用促進シンポジウム

「地域に根ざしたより良い交通環境の整備に向けて」基調講演並びにパネルデ

スカッションコメンテーター：佐藤信之 平成24年2月5日(日) 由利本荘市

⑦国土交通大学校「持続可能な地域鉄道再生のために」講師：原 潔(2010年10月27日)

⑧東北運輸局主催「東日本大震災後における東北地方の鉄道利用促進策等の検討調査WG」

委員として参画：原 潔 平成23年12月～平成24年3月 伊達市

### 3. 収益事業

本年は、以下の収益事業を開始し、一定の成果を上げることができました。

(1) 地域鉄道支援事業

地域鉄道支援事業においては、鉄道グッズの企画を提案、販売に至りました。

(2) 調査出版事業

津軽鉄道小史の頒布を行うとともに、広島電鉄100年史(仮)の編纂事業を受託しました。

### 4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> を使って法人運営に関する告知と地域交通

に関する情報の提供を行いました。

東北の鉄道応援のために鉄道写真家米屋こうじ氏のご協力により「米屋こうじの写真帳」を平成23年4月22日に開設しました。

東北観光博ロゴマーク使用登録許可を取得し、平成24年3月22日より東北観光博の応援を開始しています。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道関係諸情報を収集するとともに会員あてメールで配信を行いました。

(2) 会報の発行

交通環境の調査研究論文のほか地域鉄道の諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第3号を平成23年11月に発行しました。

(3) 鉄道ジャーナル誌に法人活動等掲載

当法人並びに会員の活動を紹介する「ECOTRAN通信」欄を毎月鉄道ジャーナル誌に掲載しました。

## 5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 平成23年6月11日(土) 11時～

場所 東武博物館ホール

出席者及び委任状及び賛成議決個数64個(総社員数102)

報告承認事項

2010年度事業報告の件

2010年度決算報告の件

2011年度事業計画の件

2011年度収支予算書の件

事務局から内容を説明し、長瀬監事からの会計並びに業務について、正しく事実と認める旨の監査報告を示し、一括承認をいただきました。

決議事項

第1号議案 役員選任の件

任期満了に伴い、理事候補者6名の選任について、会場に諮ったところ、満場一致で理事重任することの決議がされました。

第2号議案 監事選任の件

監事候補者について、会場に諮ったところ、満場一致で唐崎好彦氏の監事就任の決議がされました。

(2) 理事会

①平成23年6月11日(土) 代表理事・業務執行理事の選定について

②平成23年11月23日(日) 広電100年史編纂、会報の発行についてほか

(3) 会員数

2011年3月31日現在

会員数 110名

# 2011年度 決算報告書

(第3期: 2011年4月1日～ 2012年3月31日)

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収 支 計 算 書  
(2011年4月1日～2012年3月31日)

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
①受取入会金	20,000	16,000			16,000	4,000	
②受取年会費	200,000	204,000			204,000	△ 4,000	
③事業収益	265,000		1,423,750		1,423,750	△ 1,158,750	
地域鉄道支援事業	(65,000)		(892,500)		(892,500)	(△ 827,500)	(内数)
調査出版事業	(200,000)		(531,250)		(531,250)	(△ 331,250)	(内数)
④受取寄付金	0	2,380			2,380	△ 2,380	*1 別掲
⑤雑収入等	10,000	943	34		977	9,023	受取利息等
⑥他会計からの繰入額		60,000	60,000	△ 120,000	0		
事業活動収入計	495,000	283,323	1,483,784	△ 120,000	1,647,107	△ 1,152,107	
(2) 事業活動支出							
①事業費支出	320,000	79,420	1,348,062	0	1,427,482	△ 1,107,482	
②管理費支出	175,000	144,955	0	0	144,955	30,045	
③他会計への繰出額		60,000	60,000	△ 120,000	0		
事業活動支出計	495,000	284,375	1,408,062	△ 120,000	1,572,437	△ 1,077,437	
事業活動収支差額	0	△ 1,052	75,722	0	74,670	△ 74,670	県・市民税他
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	50,000	0	0	50,000	△ 50,000	*2 別掲
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	50,000	0	0	50,000	△ 50,000	
4. 予備費支出	50,000	0	0	0	0	50,000	
当期収支差額	△ 50,000	48,948	75,722		124,670	△ 174,670	
前期繰越収支差額	532,536	532,536	0		532,536	0	
次期繰越収支差額	482,536	581,484	75,722		657,206	△ 174,670	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

\*1 ご寄付を頂いた方  
川上五郎氏

—ありがとうございました—

\*2 新規基金拠出  
唐崎好彦氏 50,000円

(基金拠出内訳)

佐藤信之 100,000円  
原 潔 100,000円  
向後功作 100,000円  
吉田千秋 100,000円  
田中 人 50,000円  
斎藤 実 50,000円  
長瀬 博 50,000円  
唐崎好彦 50,000円

事業活動支出の内訳

単位:円

科目	予算額 a	決算額				差異 a-b	備考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業費							
(1) セミナートレインの開催	10,000	8,360			8,360	1,640	ポスター等
(2) 鉄道茶論の開催	10,000	0			0	10,000	
(3) 会報の作成	60,000	60,000			60,000	0	
(4) 地域鉄道フォーラムの開催	10,000	11,060			11,060	△ 1,060	ポスター等
(5) 地域鉄道支援事業	50,000		764,565		764,565	△ 714,565	
(6) 調査出版事業	180,000		583,497		583,497	△ 403,497	
事業費計	320,000	79,420	1,348,062		1,427,482	△ 1,107,482	
2. 管理費							
(1) 会議費	10,000	8,300	0		8,300	1,700	総会、理事会
(2) 交際費	0	0	0		0	0	
(3) 旅費交通費	0	0	0		0	0	
(4) 通信費	50,000	12,150	0		12,150	37,850	郵便、宅配便
(5) 什器備品費	0		0		0	0	
(6) 事務用消耗品費	10,000	15,805	0		15,805	△ 5,805	
(7) 新聞図書費	0	3,360	0		3,360	△ 3,360	
(8) 委託費	0		0		0	0	
(9) 雑費	5,000	24,240	0		24,240	△ 19,240	供花・弔電等
(10) 租税公課	100,000	81,100	0		81,100	18,900	県・市民税等
管理費計	175,000	144,955	0		144,955	30,045	
3. 他会計への繰出額		60,000	60,000	△ 120,000	0		
事業活動費計	495,000	284,375	1,408,062	△ 120,000	1,572,437	△ 1,077,437	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円

科目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	602,536	866,278
未収入金	0	0
仮払金	0	0
資産 a	602,536	866,278
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	70,000	205,072
前受金	0	4,000
負債 b	70,000	209,072
繰越収支差額 a-b	532,536	657,206

貸借対照表 (2012年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	655,484	210,794		866,278	602,536	263,742	
未収入金	0	0		0	0	0	
前払費用	0	0		0	0	0	
仮払金	0	0		0	0	0	
流動資産合計	655,484	210,794		866,278	602,536	263,742	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	655,484	210,794		866,278	602,536	263,742	
2. 負債の部							
(1) 流動負債						0	
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用	0	0		0	0	0	
未払金	70,000	135,072		205,072	70,000	135,072	県・市民税他
前受金	4,000	0		4,000	0	4,000	次年度会費前受け
負債合計	74,000	135,072		209,072	70,000	139,072	
3. 正味財産の部							
基金	600,000	0		600,000	550,000	50,000	
一般正味財産	△ 18,516	75,722		57,206	△ 17,464	74,670	
正味財産合計	581,484	75,722		657,206	532,536	124,670	
負債及び正味財産合計	655,484	210,794		866,278	602,536	263,742	

正味財産増減計算書 (2011年4月1日～2012年3月31日)

単位:円

科目	当年度				前年度 b	増減 a-b	備考
	一般会計	収益事業	内部取引消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	550,000			550,000	500,000	50,000	
基金期末残高	600,000			600,000	550,000	50,000	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	16,000	0		16,000	27,000	△ 11,000	
受取年会費	204,000	0		204,000	192,000	12,000	
事業収益	0	1,423,750		1,423,750	0	1,423,750	
受取寄付金	2,380	0		2,380	40,000	△ 37,620	
雑収入等	943	34		977	10,880	△ 9,903	
他会計からの繰入額	60,000	60,000	△ 120,000	0	0	0	
経常収益合計	283,323	1,483,784	△ 120,000	1,647,107	269,880	1,377,227	
(2) 経常費用							
事業費	79,420	1,348,062		1,427,482	128,186	1,299,296	
管理費	144,955	0		144,955		144,955	
他会計への繰出額	60,000	60,000	△ 120,000	0	143,564	△ 143,564	
経常費用計	284,375	1,408,062	△ 120,000	1,572,437	271,750	1,300,687	
当期経常増減額	△ 1,052	75,722		74,670	△ 1,870	76,540	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,052	75,722		74,670	△ 1,870	76,540	
一般正味財産期首残高	△ 17,464	0		△ 17,464	△ 15,594	△ 1,870	
一般正味財産期末残高	△ 18,516	75,722		57,206	△ 17,464	74,670	
正味財産合計	581,484	75,722		657,206	532,536	124,670	

財務諸表に対する注記

重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日付け内閣府公益法人認定委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。



2012年 4 月 24 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク  
代表理事 佐藤信之 殿

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク  
監 事 唐崎好彦 ⑩

## 監 査 報 告 書

私は、2011年4月1日から2012年3月31日までの第3期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

# 2012年度 事業計画

## 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

### 1. 基本方針

地域鉄道を支え守ることは当該地域の足を確保するだけにとどまらず、コミュニティやその地域で培ってきた伝統や文化を守ることにもなります。

地域と鉄道の一層の結びつきが必要との認識のもと、交通環境の調査研究、交通環境の整備等の諸活動を継続実施します。

また、本年度は東日本大震災からの復興、地域振興に寄与できるよう、東北観光博の応援を行っていきます。

### 2. 交通環境の調査研究

地域鉄道等を取りまく交通環境に関する諸情報を収集し、交通の歴史的背景やその運営方策についての調査研究を継続して行うほか、都市鉄道、幹線鉄道及び地方路線バス、コミュニティバスの現状等に関して調査を継続実施する予定です。

これらの調査研究の結果については会報や出版物を通じて随時発表して行く予定です。

### 3. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

交通環境の整備に資するため、「地域鉄道フォーラム」、「鉄道茶論」等の主催事業を継続開催するとともに、国、地方公共団体、鉄道会社等が行う地域交通活性化の活動に協力して行きます。

#### (1) 主催事業

主催事業は、以下のとおり予定をしています。

なお、調整中のものは、決定次第ホームページ、インターネットメールでお知らせいたします。

#### ① 第4回地域鉄道フォーラム—全国公募鉄道社長サミット in 東京—

期 日：平成24年6月9日（土）13時00分～15時00分

場 所：東武博物館ホール

参加費：無料。ただし、東武博物館への入場料大人200円、小人100円が必要です。

内容：平成22年6月12日開催の第2回地域鉄道フォーラムで公募社長サミットを開催したところ大変な反響を呼びました。その後、新たに公募による社長に就任された方もあり、再び全国の公募鉄道社長が一堂に集い、地域と鉄道について論じます。

（プログラム）

#### 1. 開会の辞

交通環境整備ネットワーク 審議役 松本孝徳（前北条鉄道 副社長）

#### 2. 講演「地域と鉄道」

秋田内陸縦貫鉄道	（秋田県）	社長	酒井 一郎
由利高原鉄道	（秋田県）	社長	春田 啓郎
山形鉄道	（山形県）	社長	野村 浩志
ひたちなか海浜鉄道	（茨城県）	社長	吉田 千秋
千葉都市モノレール	（千葉県）	社長	大澤 雅章
いすみ鉄道	（千葉県）	社長	鳥塚 亮

#### 3. 全国公募鉄道社長サミット

代表理事・交通評論家佐藤信之と公募社長によるパネルディスカッション

#### ② 第3回鉄道茶論

期 日：調整中

場 所：調整中

参加費：無料。ただし、会場までの交通費、会場での茶菓代等は自己負担。

概 要：鉄道茶論は、暖かいサロンの雰囲気でお茶に集い、そして気楽に鉄道を語ることを目的に開催しています。

#### ③ 第6回セミナートレイン（鉄道大学）

期 日：調整中

場 所：調整中

参加費：無料。ただし、会場までの交通費は自己負担。

概要：セミナー TRAIN は、参加者がその地域の鉄道に実際に乗り、沿線の雰囲気に触れることができるよう、鉄道車両、駅等の場所をお借りし、時宜にあったテーマでセミナーを開催しています。

#### 4. 収益事業

(1) 地域鉄道支援事業

地域鉄道とタイアップしてパンフレット、企画商品の開発、共同事業等を行います。

(2) 調査出版事業

都市及び地域の交通に関する諸調査と交通に関する資料の刊行を行います。

#### 5. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

インターネットサイト <http://www.ecotran.org> の内容を充実するとともに、鉄道諸情報等を収集、メールによる配信を行います。

また、ホームページで東北観光博についての応援を行っていきます。

(2) 会報「地域交通を考える」の発行

交通環境調査研究の論文及び地域鉄道の諸情報等をまとめた会報「地域交通を考える」を発行します。

(3) 鉄道ジャーナル誌に活動報告掲載

鉄道ジャーナル誌の「ECOTRAN通信」を活用して広く一般の方々に当法人並びに会員の活動を毎月紹介して行きます。

#### 6. 当法人の発展のために

当法人発展のために、会員諸氏におきましても広報活動をお願いします。

##### 会費の納入のお願い

2012年度会費2,000円を、次の口座まで納入をお願いいたします。

郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

口座名称(カナ) シヤ) コウツウカンキョウセイビネットワーク

銀行等からお振込みされる場合は、次をお願いします。

ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)当座 0546398

2012年度 収支予算書

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	15,000			15,000	20,000
②受取年会費	200,000			200,000	200,000
③事業収益					
地域鉄道支援事業		350,000		350,000	65,000
調査出版事業		300,000		300,000	200,000
④受取寄付金					
⑤雑収入等	5,000			5,000	10,000
⑥他会計からの繰入額	60,000	60,000	△ 120,000	0	
事業活動収入計	280,000	710,000	△ 120,000	870,000	495,000
(2) 事業活動支出					
①事業費支出	90,000	500,000		590,000	320,000
②管理費支出	130,000	100,000		230,000	100,000
③他会計への繰出額	60,000	60,000	△ 120,000	0	
事業活動支出計	280,000	660,000	△ 120,000	820,000	495,000
事業活動収支差額	0	50,000	0	50,000	0
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
4. 予備費支出	50,000	0		50,000	50,000
当期収支差額	△ 50,000	50,000		0	△ 50,000
前期繰越収支差額	581,484	75,722		657,206	532,536
次期繰越収支差額	531,484	125,722		657,206	482,536

事業活動支出の内訳

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1)セミナー・トレインの開催	10,000			10,000	10,000
(2)鉄道茶論の開催	10,000			10,000	10,000
(3)会報の作成	60,000			60,000	60,000
(4)地域鉄道フォーラムの開催	10,000			10,000	10,000
(5)地域鉄道支援事業		300,000		300,000	50,000
(6)資料調査事業		200,000		200,000	180,000
事業費計	90,000	500,000	0	590,000	320,000
2. 管理費					
(1)会議費	15,000			15,000	10,000
(2)交際費					
(3)旅費交通費	25,000			25,000	
(4)通信費	20,000			20,000	50,000
(5)什器備品費					
(6)事務用消耗品費	40,000			40,000	10,000
(7)新聞図書費	10,000			10,000	
(8)委託費					
(9)雑費	10,000			10,000	5,000
(10)租税公課	10,000	100,000		110,000	100,000
管理費計	130,000	100,000	0	230,000	175,000
3. 他会計への繰出額	60,000	60,000	△ 120,000	0	
事業活動費計	280,000	660,000	△ 120,000	820,000	495,000